

釧路市議会 意見交換会

2023.10.12



釧路市議会×北陽高校
これからの釧路をつくる座談会

013 26

目 次

北陽高校との意見交換会 結果概要	1
北陽高校生徒の感想	3
北陽高校生徒へのメッセージ	5

北陽高校との意見交換会 結果概要

釧路市議会では、釧路市議会基本条例に定められた「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指し、議会の持つ情報を積極的に発信し、市民への説明責任を果たすとともに、市民と議員が自由に意見交換する場として、例年『議会報告会』を、2018年度(平成30年度)からは、特定のテーマを設定し、関係団体と意見交換を行う『意見交換会』を開催しています。

このほど、釧路北陽高校より、地方自治について学ぶ公民科の選択科目（時事問題研究）の授業の中で、市議会議員と接する機会があれば投票率向上につながるのではとの意見をきっかけに、市議と生徒との座談会形式での意見交換会について相談があったことから、「若い世代の投票率の低下についての改善策」をテーマに、意見交換を行ったものです。

1 開催日時及び場所

日時 2023年(令和5年)10月12日(木) 10時50分～12時40分

場所 釧路北陽高校 3階社会科教室

2 参加者

(1) 釧路北陽高校 3年生の選択授業F（時事問題研究）選択生徒 34名

(2) 釧路市議会 11名

役職等	氏名	備考
議長	畑 中 優 周	創志会
副議長	宮 田 団	市民連合議員団
議会広報特別委員長	板 谷 昌 慶	市民連合議員団
議会広報特別副委員長	梅 津 則 行	日本共産党議員団
	夏 堀 めぐみ	自民市政クラブ
	藤 井 若 菜	創志会
	高 橋 一 彦	自民市政クラブ
	山 口 光 信	自民市政クラブ
	大 澤 恵 介	自民市政クラブ
	松 原 慶 子	公明党議員団
	木 村 勇 太	市民連合議員団

- (3) 釧路市選挙管理委員会事務局 2名

3 プログラム

- (1) 参加議員自己紹介
- (2) 議員1名と生徒3～4名を1グループとして、15～20分程度の座談会を実施。
※グループを入れ替えながら3回実施。
- (3) 代表生徒謝辞
- (4) 参加議員からの感想と生徒へのメッセージ
- (5) 記念撮影

北陽高校生徒の感想

- ・ 今日、市議会の方と座談会をしてみて、自分が思っていた以上に仕事内容を聞いてみて大変さを感じ、ストレスのたまる仕事だと思いました。釧路について一番に考えていてもできないことが多いんだなと思い、予算の使用先について知ることができたり、うまくいかないことが多い仕事だからこそ、やりがいをととても感じ、楽しい仕事だと言っていたので興味がわきました。
- ・ 自分が気になっていたことや、将来、市役所職員になるためにどんな力が必要になるのかであったり、釧路の魅力で新たな考えを得ることができてよかった。中心市街地の活発化はやはり難しい課題であったが、大学生が駅前に集まるようサテライトオフィスを建設するなど、人が集まれば店もできるという考えから、いつか実現されるのではないかと思った。
- ・ 今まで議員がどんな仕事をしているかわからなかったけど、みんな力を入れている政策があって、釧路のため、釧路に住んでいる人のために働いてくれていることがわかった。自分のためじゃなく、人や釧路のために動いてくれるのに給料が低くて悔しかった。
- ・ 3名の議員さんにいろいろな質問をして、回答していただいたが議員一人一人が自分の考えや意見をしっかりと持って、政治活動に取り組んでいるということを改めて実感した。議員の人たちは目を見て話したり、会話の続け方が上手だったのでコミュニケーション能力がすごいと思った。
- ・ 釧路市議会の立場と自分の立場から見た釧路について、考え方の違いがたくさんあってとても勉強になった。市議会議員の皆さんはとても優しく話しやすく、いろいろな話を聞いたり、質問したりして、とても有意義な時間を過ごすことができた。釧路について話すことで改めて住んでいる釧路のことについて考える時間になった。
- ・ 3人の議員さんはみんな優しく話しかけてくれたので接しやすかった。やりたいことの実現がやりがいになるというのが市議会議員のいいところだと思った。私

たちのために、すべての質問に対して答えを作ってくれている人もいて、興味を持ってもらっていると感じた。難しい質問も答えてくれた。これからに向けて、とても貴重な経験ができて、有意義な時間でした。

- ・議員さん一人ひとりにやり遂げたいことがたくさんあり、この活動をする前は「こんなことできるのだろうか」と思っていたけど、聞いていくうちに、細かいことがたくさん聞けて、これなら近い将来できるのかもしれないと思えた。普段ないこういった機会をもっともっと大切にしていこうと思った。
- ・釧路市議会の方との会話はとても話しやすく、釧路のことについての考えや質問に対しての回答に対し、丁寧でわかりやすい説明をしてくださいました。釧路を何とかしようとする意志が感じられました。話をしていくうちに釧路をどうこうするには自分も含めて市民自身が行動に移さないと変わることが難しいと思いました。
- ・今まで、議員の方は具体的にどのような仕事をしているのか知る機会がなかったが、実際に話すことができおのおのが市民のためという思いで活動しているかを知った。釧路の人口減少や釧路市が持っているお金など深いところまで答えていただき、考えが深まった。自分たちの意見を政治に反映するためにも、選挙に行くことが必要だと実感した。
- ・今まで議員さんたちには正直、堅い印象しかなかったが、話をしてみて何もやっっていないのではなく、住民が知らないだけだということに気づいた。なので、もっと住民が積極的に行動していくと、市がもっとよくなると感じた。他には、新しく考えている釧路の事業なども聞けて面白かった。

北陽高校生徒へのメッセージ

板谷 昌慶 議員（議会広報特別委員会委員長）

この度は、貴重な意見交換会の場を設けていただきありがとうございました。開催に当たり、ご準備等にご尽力いただきました辻堂先生をはじめ、学校長、職員の皆さま、そして事務局の皆さまに感謝申し上げます。私自身、大変勉強になる1日でした。

初めは、生徒の皆さんも我々も緊張気味でしたが、意見を交換するたびに表情に笑顔が見られるようになりました。

事前に質問項目等は伺っていましたが、項目以外に聞きたいことがあれば、質問してくださいね、と投げ掛けると、多くの多岐にわたる質問が飛び交いました。生徒の皆さんが授業の一環だからではなく、釧路のことを大切に思い、今後の釧路を心配している気持ちが理解できました。

また、一番身近な釧路市議会議員選挙についても、授業の中で議員の公約やこれまでの経緯などから模擬投票を行い議論したとお聞きしました。

課題として、公約が見えづらい、候補者が直接訴える場があったほうが良い、公開討論会などがあれば、より選挙に興味を持ち投票につながると思うなど、現実的なご意見も頂きました。

今後の進路で釧路を離れる生徒もいるかと思いますが、釧路のことを真剣に考える若者がいることがうれしく思えたのと同時に、戻ってこられる住みやすい釧路の構築に今後も尽力しなくてはと、身が引き締まる思いでした。

今後も開かれた議会のために、より一層、多方面への発信や意見交換の場を増やす取り組みの構築が重要であると認識しました。

梅津 則行 議員（議会広報特別委員会副委員長）

生徒たち（皆さん）からの質問は真っすぐで、私にはとても「新鮮」で楽しい意見交換会でした。改めて議員活動を振り返る場ともなりました。

28人の議員の名前や所属、公約などを事前書き出して調べた上で、質問されていた。先生の指導も素晴らしい。

選挙や市議会が身近に感じられる取り組みだったと思います。

ありがとうございました。

松原 慶子 議員

北陽高校の皆さんとお話しでき、若き力を感じました！「とても頼もしい！未来は明るい！」それが一番先に頭に浮かんだ言葉です！

釧路の未来を真剣に考えている。釧路のために何かしたい、役に立ちたいと思っている。素晴らしい！！

そして、何より印象に残ったのは、箱物をいくら作っても、市民一人一人の意識が変わっていかなければ、このまちの発展はないと思う。という意見！感動しました！

多くのことを学べたひとときに感謝の思いでいっぱいです！先生はじめ、生徒の皆さん、貴重な機会を頂き、心から感謝しています！

みんなで、頑張っていこ～。素晴らしい一生を送れるよう、助け合い、素敵なまちにしていこう！（できれば釧路に残ってね。戻ってきてね。……願いです。）

夏堀 めぐみ 議員

生徒さんたちの率直なご感想を頂き、うれしいです。ありがとうございます。自分が暮らすまちにどんな印象を持ち、どんな感情が湧くかを感じたり、それはなぜかを考えてみたり、その思いや考えを自分以外の人と語り合ったりすることは、「自分を取り巻く環境」を自ら変えられるかもしれない最初のきっかけになると私は思っています。

私がお話しした生徒さんたちがたまたまだったかもしれませんが、公務員を目指す方が多いと受け止めました。卒業後の進路を釧路市で、と考えている方にまたお会いする未来も浮かび、楽しみが増えました。

また、議員のお仕事にも興味がある方がいたことにも感激しました。

どんな進路になるにせよ、皆さんお一人お一人が何らかの材料をもとに選択した道だと思いますので、いまを生きる同士として、精一杯生きましようね、とメッセージをお伝えいたします。

当日、私がお話をさせていただいた3グループの生徒さんたちの質問内容は、「議員は毎日何してるの?」、「釧路の魅力は?」など、さまざまでした。「高校生の遊べる場所はありますか?」という質問では、釧路の喫茶店、蕎麦屋、銭湯巡りや、湿原散策などの安価で体験できるアウトドアをお薦めしましたが、つながりがあればですが、この地域にしかない産業やお仕事の体験をしてみても、ともご提案しました。それは例えば、昆布干しなどです。昆布漁が始まる時期になると、漁師さんによっては臨時でアルバイトを募集したりします。

その土地ならではの産業を体験できる機会にもなるし、働くという経験を積むこともできます。何より、学生をしながら、家や学校以外での社会とのつながりをつくることができます。もしかしたら、親にも友達にも言えないことが言える、大切な大人との生涯ご縁のある出会いになるかもしれない。

また、子育て政策などの重点的に取り組んでいるテーマも聞いていただきました。短い時間だったので、私の問題意識をお伝えするだけにとどまってしまいましたが、皆さんの考えももっと伺いたかったです。次回はもう少し時間をたっぷり取って、各テーマについて現状の制度や政治動向を知っていただき、皆さんがどう考えるか感じるか新鮮な意見を聞かせていただきたく思っています。

皆さんの存在はそれだけで尊く、お一人お一人のアイデアや行動力、エネルギーはたくさんの人を救うと私は思います。

少なくとも、私は2歳の娘や身の回りの子どもたちがありのまま振る舞う様子に、「素直さ」「優しさ」「たくましさ」を毎日教えてもらって救われている一人です。皆さんの「面白い」「気になる」、それから「なんか変」という感性を大切に。またお会いしましょう！

藤井 若菜 議員

先日は貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

生徒さんたちとの交流を通じながら、高校時代は自分も同じようなことを考えていたと思い出しました。

私自身、高校生の頃は気にしたことさえありませんでしたが、北陽高校は市内唯一の市が設置している高校です。

そのため、鉦路市ならではのオリジナリティーを実践しやすい場であると思っています。

それには大人だけではなく、当事者である生徒さんたちの自主性は欠かせません。

鉦路市の高校生として、どういう学生生活を送りたいのか、そのために市からどのようなサポートがあればいいと思うのか、私たちにこれからも伝えてほしいです。

市の予算や、国の法律、道の方向性、あらゆる難しい現状が立ちはだかっても結局、思いもよらない方法で突破できるのは若い力だと思っています。

何でも教えます。しっかり答えを返します。そのために、まずは気軽に尋ねることから始めてほしいと思います。

今回の意見交換会はその第一歩になったと、認識しています。

木村 勇太 議員

さまざまな生徒の方と意見交換を行うことができ、大変、有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

今回の意見交換を通して、選挙と生活が結び付いていることを実感していただき、みんなで釧路市を盛り上げていけると幸いです。

また、生徒の皆さまには、これからたくさんのことを学び、お一人お一人がやりたいこと、成し遂げたいことに向かって進んでいく。そのような、未来に向けて羽ばたいていく姿を陰ながら応援させていただきます。